

Risk Flash No.211 (Vol.6 No.9)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長 久保英也

- 教育の視点：SUCCESS の利用促進を目的とした教員向け説明会の実施・・・・・・・・・・Page 1
- 研究紹介：地神亮佑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 2
- リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 2

教育の視点

SUCCESS の利用促進を目的とした教員向け説明会の実施

しょうじかずや
特任講師 庄司一也

白熱教室プロジェクト（学生の主体的な学びあいを基礎とする教育システムの刷新—経済・経営系教育における白熱教室の創出—）では、本学の教育支援システムの中核である SUCCESS を平成 26 年の 4 月・12 月と 2 回にわたって大幅な改修を行いました。

その改修のポイントは「講義連絡機能」と「課題設定機能」で教員ならびに学生からの貴重な意見を基に、教育サポート機能を強化し、プロジェクトの趣旨に沿った教育学習支援環境の向上に寄与する内容です。

しかし、新システムを搭載する SUCCESS をリリースしただけでは上記機能の教員の授業利用が普及するものではありません。

そこで、改修した内容を掲載した新マニュアルを作成し公開したのに加え、使用方法（操作方法）の実際と授業での機能利用の実例を示し、利用促進を図るために教員向け説明会を実施いたしました。

平成 27 年 5 月 14 日の経済学部教授会において、本プロジェクト責任者である武永淳准教授が講師として説明（改修機能紹介）を行いました。多くの出席者から質問も出て、大変有意義なものとなりました。

さらに 5 月 28 日の経済学部教授会においては、「SUCCESS の教員アンケート」を実施させていただきました。その結果を受け（貴重なご意見や要望を基に）、さらなる SUCCESS の説明会やワークショップ開催などを検討してまいります。

今後も本プロジェクトは本学の ICT 教育システムをはじめ教育学習支援環境の向上を目指し、様々な取り組みを行ってまいります。



当日の SUCCESS 説明会の様子
講師：武永淳准教授（本プロジェクト責任者）

研究紹介

ちがみりょうすけ
特任講師 地神 亮佑

本年 4 月に経済学部に着任しました地神亮佑です。労働法および社会保障法、特に労働保険（労災保険・雇用保険）に関する法についての研究を行っています。

現在中心的に取り組んでいるのが雇用保険（失業保険）法制に関する研究です。雇用保険制度は主として失業による所得喪失という生活危険に対して保障を行う制度ですが、わが国においては低失業の時代が続いたこともあり、あまり法的な研究の対象となってきませんでした。しかし、リーマン・ショックに端を発する失業率の急上昇など、これまでと違い失業が「例外」的な危険ではなくなっている現在、雇用保険法制についてあらためて根本から検討しなおさなければならない、そのように考え、研究をはじめました。

まず研究の対象としたのはアメリカにおける失業保険法制です。「自己責任」の風潮が強く「社会保障」というものがイメージされにくいアメリカ社会において、資本主義社会において必ず起こりうる「失業」という危険にどのように対応しているのか、という点に興味を持ったからです。研究を進めるうちに、そのようなアメリカ社会であるがゆえの失業保険法制のあり方が存在することがわかってきました。失業による所得喪失の「責任」を、失業を引き起こした者に負わせる、ということが明確になっているのです。つまり、失業は使用者が雇用保障責任を怠ったことによるという考え方のもと、失業保険給付にかかるコストは事業主の拠出する保険料のみによってまかなうが、過去の解雇率が低いなど自らが発生させた失業給付コストが少ない事業主の保険料率は低くなるものとされており、また、失業労働者の側に責任のある失業（例えば自己都合退職の場合）については、失業給付を行わない（所得喪失の責任は自分で負う）ということが当然の前提とされ、そのように制度運営・法解釈がなされています。

なぜ給付を受けることがない使用者が雇用保険給付にかかる費用を負担するのか、そうしたところから検討をはじめなければならないわが国の法制度研究において、社会や制度に対する考え方の違いこそあれ、諸外国の法制度やその研究は参考になる部分が多いはずで、それらの比較検討を通じて、わが国の雇用保険法制のあるべき姿を探求していきたいと考えています。

リスク研究センター通信

◇滋賀大生が復刻した「賢治のカレー」、滋賀大学彦根地区生協と千成亭などで発売中です。

詳しくは <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=topics:1715&r=0> をご覧ください。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】

1. 配信メールが回線上的問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

*当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、菊池健太郎、
金秉基、久保英也、柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局（Office Hours:月一金 10:00-17:00）

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1 TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp

Web page : <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>